

美術科学習指導案

坂町立坂中学校

指導者 竹本 真也

- 1 日 時 平成25年11月13日(水) 第4校時
- 2 学年・学級 第3学年1組 教室(男子18名, 女子20名, 合計38名)
- 3 題材名 暮らしの中のキャラクター
- 4 題材設定の理由

(1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領美術の第2・3学年の内容「A 表現」(2)「伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を指導する」の事項イ「伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ること。」及び〔共通事項〕(1)を受けて設定した。本題材のねらいは2点である。1点目は、暮らしの中にあるピクトグラムについて形や色彩の性質がもたらす感情の効果を考えるという視点でとらえさせ、学校生活をテーマに情報をピクトグラムで分かりやすく表現させることである。2点目は、他者の作品から作者の意図や工夫を感じ取らせることである。この題材を通して、他者の立場に立ち、形や色彩を工夫して情報を分かりやすく表現する力や伝達のためのデザインの面白さや工夫を感じ取る力を育むことができる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、落ち着いて授業に取り組み、美術科の学習に対しても意欲的で、表現活動への関心も高い。アンケートでは、90%の生徒が「美術の授業が好きである」と回答しており、80%の生徒が鑑賞に対して肯定的な評価をしている。しかし、15%の生徒は、鑑賞することに対して興味をもてていないという実態がある。これは作品についての知識を理解させることが中心となりがちであったことや、作品のよさを十分に味わわせることができていなかったことが原因だと考えられる。第1学年の絵文字づくりや第2学年のキャラクター制作では、発想豊かにアイデアスケッチを行い、自分にあった表現方法を考え、意欲的に制作できる生徒が半数以上いる。しかし、構想を練ったり、思い通りに制作できなかつたりする生徒も少数いる。

(3) 指導観

生活の中にあるピクトグラムと同じ格好で撮影したものを比較したり、外国の文字だけの表示と文字と同じ意味のピクトグラムの表示のメリット、デメリットを考えたりすることを通して、ピクトグラムのデザインが不特定多数の人々の立場に立ち、誰が見ても分かるように工夫されていることに気づかせる。またデザインの構成や表現の工夫を考えさせる際には形や色彩を意識させ、学校生活をテーマにピクトグラムを考えさせるようにする。様々な情報を言葉に表し、必要最低限の単純な形にして、誰にでも分かるオリジナルのピクトグラムを制作する。発想や構想が苦手な生徒には、相互鑑賞の時間を設けたり、参考資料を提示したりするなどの支援を行い、主体的にやりたいことを選択し、実行する力を引き出す手立てとする。作品完成後に相互鑑賞の時間を設け、他者の意見を参考にすることで、伝達のためのデザインの面白さや工夫を感じ取る力がつくと考えられる。

(4) 研究主題との関わり

研究主題「生徒が意欲的に学びあう授業づくり～『坂中学びのサイクル』の活用を通して～」
をふまえて工夫する点は

- ①めあての明確化（つかむ）
- ②授業の流れの明示（見通す）
- ③自分自身が感じ取った作品の世界を説明し合う（深める）
- ④自己評価（ワークシート）の活用（まとめる）

5 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
○暮らしの中にあるデザインの構成や工夫した表現に興味を持ち、主体的に考えている。	○多くの人の立場に立って、情報を分かりやすく伝えるために、形や色の効果を生かして表現の構成を練っている。	○伝えたい情報について自分のイメージにあった表し方を創意工夫している。	○暮らしの中のピクトグラムの表現の工夫や作者の意図を感じ取っている。

6 指導と評価の計画

次	学習内容（時数）	評 価					評価方法
		関	発	創	鑑	評価規準	
第1次 (1) 【本時】	○個人やグループの話し合いを行い、ピクトグラムの表現の工夫や役割を考える。 ○学校内でピクトグラムが必要な場所を探し、ワークシートにアイデアスケッチと設置理由を記述する。	○	◎			○暮らしの中にあるデザインの構成や工夫した表現に興味を持ち、主体的に考えている。 ○多くの人の立場に立って、情報を分かりやすく伝えるために、形や色の効果を生かして表現の構成を練っている。	・行動観察 ・ワークシート
第2次 (2)	○学校内のピクトグラムの制作をする。			○		○伝えたい情報について自分のイメージにあった表し方を創意工夫している。	・作品
第3次 (1)	○自分の作品についての説明をワークシートに記述する。 ○お互いの作品を鑑賞し、表現の工夫を感じ取り、批評し合う。				○	○暮らしの中のピクトグラムの表現の工夫や作者の意図を感じ取っている。	・発言内容 ・ワークシート

7 本時の目標

暮らしの中でのピクトグラムの表現の工夫や作者の意図を主体的に考え、学校のピクトグラムのデザインの構想を考える。

8 本時の展開


	学習活動	形態	評価規準・方法	指導上の留意点
導入 6分	①本時の学習内容を確認する。 つかむ 見通す	一斉		○提示した写真を見て、何を表しているか発表させる。(どれも非常口を表している)その後ピクトグラム(絵文字)であることを伝える。
	めあて：ピクトグラムの工夫を生かして、学校のピクトグラムを考えよう			
展開 7分 7分 5分	②ピクトグラムを提示し、ワークシートに何を表しているのか記述する。 ③グループで話し合い、ピクトグラムの工夫した理由をワークシートに記述する。 深める ④話し合ったことを発表し、ピクトグラムで大切なことは何か考える。(教科書P26)	一斉 グループ	○暮らしの中にあるデザインの構成や工夫した表現に興味を持ち、主体的に考えている。(行動観察)	○身近な生活の中にあるピクトグラムの表現の工夫を意識して、学校のピクトグラムを考えることを伝える。 ○ピクトグラム数点を提示し、ワークシートに何を表しているか書かせる。 ○提示したピクトグラムの工夫を見つけさせる。グループで話し合い、工夫点をワークシートに記述させる。 ※色と形を注目し、整理させる。 ※それぞれのイメージを考えさせる。
15分	⑤学校内で守ってほしいことを考え、学校のピクトグラムをワークシートにアイデアスケッチをする。	一斉 個人	◎多くの人の立場に立って、情報を分かりやすく伝えるために、形や色の効果を生かして表現の構成を練っている。(ワークシート)	○話し合ったことを発表し、分かりやすくする工夫のポイントに気づかせる。 ※ 場所や施設、安全、禁止、注意、指示などの情報を 不特定多数の人々 に一目で教えるため、 単純な形や色 で表し、伝える工夫をしている。 ○場所や施設、安全、禁止、注意、指示などの情報を板書し、発表させる。 【例】 ①廊下を走らない②時間を守る(着ベル)③黙動清掃 ④特別教室 ⑤道路をふさいで(広がって)歩かない ※ ユニークな例でふざけすぎないようにする ○ワークシートにアイデアスケッチを複数描かせる。 ※形や色の効果を考えて描くように指示する。

ま と め 10 分	振り返り：ピクトグラムの工夫を生かして、学校のピクトグラムを考えられた			
	⑦アイデアスケッチから1つ選び、場所と情報を発表する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">まとめる</div>	一斉		○生徒の作品を写真にとって、全体に見せながら、発表させる。 ※ピクトグラムの特徴を踏まえて、作品の良いと思うところを発表させる。

9 板書計画

ねらい


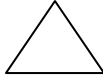
ピクトグラムの工夫を生かして学校のピクトグラムを考えよう



ピクトグラムの工夫

形	
色	
その他	

学校の守ってほしいこと

- ・ 禁止 
- ・ 注意すること 

ふりかえり：ピクトグラムの工夫を生かして、学校のピクトグラムを考えられ

10 準備物

教科書，資料集，ワークシート，用紙，ピクトグラム，テレビ，カメラ